



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R 6 年度 第 7 号①
津山教育事務所 2 月

学校経営オンライン座談会（1／28）テーマ「特色ある取組事例をもとにわが校を見つめ直す」

①鏡野：南小：畝本校長先生 ②真庭：蒜山中：廣瀬校長先生 ③美咲：旭学園：藤原校長先生にそれぞれ ①6 課制を核にした組織運営 ②学び合う活動の充実 ③義務教育学校の学校づくり を中心に語っていただきました。約60名の皆様に参加していただき、多くの学びを得ることができました。3名の校長先生、貴重な発表をありがとうございました。校長先生のプレゼン資料や参加者の皆様からいただいたキーワードをもとに各校の特色を紹介したいと思います。

鏡野町立南小学校

ふるさとに誇りをもち、自ら未来を拓く
児童の育成

南っ子「笑顔」プロジェクト

笑顔生活を創る児童
仲間と笑顔を創造する教職員
地域を笑顔にする学校

6 課制 教夢（総夢）課・育成課・行事課
保健課・指導課・支援課

自分の良さを生かしたリーダーシップ
教師の主体的な背中を子どもに示す
調整会議（週1）企画会議・職員会議

6 課制による化学反応

6 人の課長 学校の推進力そのもの
主体性の発揮 前向き 各課連携協力
研究会挑戦 自立応援室立ち上げ
若手の輪・中堅課長の輪が組織の中で
好循環 螺旋階段

今年だけのメンバー 奇跡

教職員とのコミュニケーション
人とのつながり

真庭市立蒜山中学校

1 豊かな心を持ちたくましく生きる生徒
2 基礎学力を充実させ生涯にわたって学ぶ生徒

学校経営・AP・校内研究

連動 リンク 焦点化 視覚化
教職員ベクトル一致

学び合う活動の充実

Team3.4（グループ学習）コラボノート
年間1回公開または研究授業
独自参観シート 校内研修もグループ

総合的な学習 課題解決学習

縦のつながり 高校生モデル
中3 プレ発表を中1・2年参観
全学年「発信」の場
共生・郷育参観日 校外ポスター掲示

授業は先生と生徒で創るもの

3年中央委員の1・2年授業参観
→全校集会で良い所 気づきを伝える
振り返りシート

小規模校連携モデル研究

英語科における合同教科会

美咲町立旭学園

夢をもち未来をひらく旭っ子の育成

9 年かけて子供の成長を支援

卒業後、たくましく、しなやかに、生
きるために 4-3-2 年制

互いを思いやる 9 年 1 家族

小中の違う文化を力に
旭学園教員のアイデンティティ形成
一つの「授業観」「生徒指導観」形成
互いの校種・専門性をリスペクト

活力ある旭地域・旭学園

コミュニティースクール
地域学校協働活動 一体的推進

ミドル・アップダウン型組織

3 部会・ステージ団の連携・調整

AP・校内研究リンク

授業づくり 学びを深める4つの工夫
郷土学習 探究的な学び方 地域貢献
英語教育一貫カリキュラム 合同教科会

目標は実現 計画は実行



校長が考える学校経営の「一步先」を実現する



R 6 年度 第 7 号②
津山教育事務所 2 月

学校経営オンライン座談会（1／28）テーマ「特色ある取組事例をもとにわが校を見つめ直す」

参加者の皆様からの感想も数多く寄せていただきました。その中から、感想の一部を共有したいと思います。

校長先生方が、職員を大事にし、共に学校を創っていくという思いが伝わってきました。生き生きと楽しみながらそれぞれの役割をこなす職員集団、職員全体でAPの重点取組を共有し、学び合い活動や課題解決学習に取り組んでいる授業、子どもたちの将来を見通し今必要な教育活動を計画し実行していく組織・・・など、校長先生方の取り組みを聞かせていただくのは、とてもいい学びになります。

最後に畝本校長先生が言われた「4月に職員に伝えるお話」も心に響きました。一日の中で、私も先生方ともっと会話や対話をしていきたいと思います。またぜひBサークルで校長先生方の実践を聞きたいです。ありがとうございました。

3名の校長先生の発表はどれもとても勉強になりました。組織づくり、校内研修の進め方、新しい学校の立ち上げ方等、きっとご苦労もあられると思いますが、どの先生もどんと構え、広い柔らかい心で全体を見ながら学校経営をされておられる姿勢を少しでも真似したいと思いました。校長としての思いを職員や児童生徒、保護者の方、地域の方に伝え、また、思いを聞きながら一緒に学校をつくっていく営みを尊く楽しいものだと感じられる余裕を持ちたいです。そのためにも、他校の校長先生方のさまざまな工夫や心構えを勉強させていただき、自分の力をつけていきたいと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

どちらの校長先生も、職員に任せながらも、柱の部分では思いや願いの共有をいかに図るかという部分で、丁寧且つしっかりとの方針を示されていることをあらためて学ばせていただきました。だからこそ、職員が安心してのびのびと力を発揮することができているのだと思います。自分なりの咀嚼をして、自分なりのやり方を模索していきたいです。

3人の校長先生の発表全てに共通しているものを感じました。短い時間のしかもプレゼン形式での発表でしたが、それぞれの学校の先生方が「学校教育目標」「AP」「組織」のもとに「いきいきと働いている姿」を感じることができました。先生方の中から意見が出てきてそれを実践する。ビジョンの共有がなされていないと不可能であり、それを形にできる組織ができていることで実践につながっていると思います。また若手であっても意見を出せる職場の雰囲気ができていることも組織づくりとして大切であると感じました。本校でも次年度の取組にいかせることも多く学びました。お忙しい中、準備をして下さった3名の先生方ありがとうございました。

3校の校長先生方は、みなさん組織をどう機能させていくかを考えられ、自分の言葉をもって職場のみなさんに語っておられるのだと思いました。教育課程の編成にあたる今、気を逃さず自分の言葉で思いを語ることに、そしてチームで動く職員の背中を温かい目で見守っていくことに努めたいと思います。若い先生たちがのびのびとチャレンジできる組織を目指して自分にできることを考え続けたいと思います。

3人の先生のお話から共通してうかがえたのは、それぞれの学校の先生方が、「やらされている」のではなく、主体的に教育活動に取り組んでいるということ。それをうまく促し支えていくことが校長としては大切なことです。自分の学校の職員との対話を大切に、同じ方向を向いて進めていきたいです。

学校経営等で相談したいことがありましたら、御遠慮なくアドバイザー
金田まで連絡ください。 連絡先：津山教育事務所義務教育支援課

学力向上班 TEL (0868) 24-8705